

来てね♪

# 第33回「東海やったん祭」

みんなで作る「東海やったん祭」——今年も楽しいイベントがいっぱいです！皆さんのご来場をお待ちしています。

期 日▼11月6日(日)  
時 間▼午前10時～午後3時  
場 所▼東海南中学校グラウンド・体育館

内 容▼右表参照  
問い合わせ▼東海やったん祭実行委員会事務局(青少年センター内 ☎282-7049)



## チャレンジ広場

巨大迷路やホッケー体験等、さまざまなアトラクションにチャレンジ！ 青少年関係団体による趣向を凝らした手作りのゲームが楽しめます。メインイベントとして障害物競走も行います！

## バザール広場

青少年関係団体による手作りの五目ご飯やお好み焼き、いもけんぴなどの模擬店が並びます！

ふるさと歴史訪  
—歴史を再発見—

## 「常陸名所図屏風」の発見

2015年7月、一双の屏風びょうぶの図像が新たに公開された。「常陸名所図屏風」と名付けられたこの作品は、六曲の画面いっぱい、常陸国を太平洋側から俯瞰たかみした景観が描かれている。傷みが目立つものの、顔料の絵の具は輝きを失っておらず、描き込みも細かさも際立っている。何よりも常陸国を名所図として描く、その画題が特徴的である。



「常陸名所図屏風(右隻四～六扇)」  
個人蔵：奥州市武家住宅資料館寄託

茨城大学教授 高橋 修  
た。美しい海岸線を失い、水辺の生活を忘れ、山林を荒廃させてしまった現代の茨城の人々が、そのことを忘却してしまっているだけなのかもしれない。この屏風の中で、美しい海岸沿いの景観を構成する一要素として、東海村の名所も描き込まれている。村松の浜辺では揚浜式の製塩が営まれている。大神宮や村松山虚空蔵堂が多くの参詣者でにぎわい、門前の村松宿には店棚を持つ町屋が連なり、巡礼や琵琶法師の姿も見られる。内陸にかけては、外洋と新川で結ばれる真崎浦や阿漕ヶ浦も描かれている。原子力関連施設等の建設により、現在、東海村の海岸線の美しさを想像することは難しいが、江戸時代以前の人々にとって、それは人々を引き付ける魅力的な景観だったのである。

ぜひご利用ください！



村公式アプリ  
「こちら東海村」



村公式子育て応援アプリ  
「のびのび子育て帳」



村公式フェイスブック  
「東海村ご当地レポーター」



村公式ツイッター  
「東海村」